



えがお いっぱい



園長通信《5号》

平成30年12月20日
岡山市立庄内幼稚園

運動会や遠足など楽しい思い出がいっぱいできた2学期も終わります。園庭では、寒くてもしっかり体を動かす子どもたちの元気な声や笑顔がいっぱい。そして、自分の目当てに向けて縄跳びやフープ、一輪車に挑戦したり、友達と誘い合ってドッジボールやドンジャンけんなどルールのある遊びを楽しんだりしています。では、2学期最後の園長通信をお届けいたします。

幼稚園にサンタさんがやってきました！



お楽しみ会は、子ども達にとって“夢と魔法の時間”です。毎年のことながら、子ども達の天使のような笑顔に癒され幸せのおすそ分けをしてもらえる幼稚園の教師は、本当に素敵な職業だなと思う瞬間でもあります。

サンタさんが登場すると会場は一瞬静まり返り、“真剣なまなざし”“くしゃくしゃ笑顔”「本物のサンタさんだ」「袋にプレゼントが入ってるんじゃない」「やっぱり赤い服着てた」友達に話しかける姿が…サンタさんと手をつないでジングルベルを一緒に踊ったり、『みんなでなかよくつかってね』とブロック積木やゲーム、自分だけのプレゼントももらったりして、夢見心地の素敵な時間となりました。



サンタさんを迎えるために

子ども達はサンタクロースの訪れを心待ちにしています。「空を飛んでくるんだよ」「もうプレゼントお願いした」と教えてくれました。「どこから来るの?」「どこに住んでるの?」と素朴な疑問。それは内緒だけど「きっと来るよ。サンタさんは魔法が使えるから大丈夫」と答えてしまったのですが、きっとお家にも来ますよね。宜しくお願いします。(笑)

さて、ヨーロッパではサンタが暗い部屋でつまずかないように、クリスマス前に子ども達がおもちゃをきれいに片付けるそうです。イブの夜そんな話をして片付けに誘うのもいいですね。そして、幼な心に夢の世界を広げられるよう語りかけながら、サンタさんを待てるようにしてあげてくださいね。

庄内学区防災ディ・キャンプ “自分の命は自分で守る!” “どこに逃げるか?”

“庄内安全・安心ネットワーク”が中心となり計画・準備を進めていただき、9日(日)に庄内小学校で実施されました。“本ネットワーク”は学区内の防犯にかかわる活動、防災等地域の課題を解決するために地域の各種団体が連携し、暮らしやすい安全・安心なまちづくりの推進を図るためにさまざまな事業を行ってくださっています。「地域の防災訓練」は、いざという時迅速な行動・心構え、地域のつながりの強化などとても重要なものです。また、各家庭で日頃からよく話し合ったり防災グッズを準備したりしておくことが必要であると言われていました。この訓練は毎年実施されていますので、今後ご家族そろって、ぜひ参加していただきたいと思います。

当日幼稚園から親子で参加された皆様には、とても寒い中大変お世話になりました。



岡山市消防音楽隊
♪街角に防火のハーモニーを奏でよう



応急手当/土のう袋作り
知っておくときと役立つ!



誕生会での経験や活動を通して子ども達に育っているもの

誕生会は毎月子ども達が楽しみにしている大切な行事です。園では、子ども達が意欲的に参加し楽しむことができるにはどうすればよいか?育つもの・育てたいものは?内容の工夫やあり方を考えながら、『幼児が主体的に進めていく誕生会』をめざして取り組んできました。

「話すこと」「聞くこと」の楽しさを感じられるようになってきました

年長児は・・・

教師のしていた「司会」という役割が、自分もできることで「話したい」という気持ちや、実際に経験することで「話すことへの自信」につながってきました。子どもにとって「マイクを使って話すこと」「友達が司会をすること」は、とても魅力的で新鮮なことであり、「話す」「聞く」ことへの関心や意欲となっています。(さすが年長組ですね!)

年少児は・・・

自分も年長組になったら「司会になりたい」「マイクを持ってみんなの前で話したい」というあこがれの気持ちや期待感をもつようになっています。「今度は自分たちの番だ!」年少児での経験が、進級後の意欲的な姿につながっていきます。(今から楽しみです!)

年長児も年少児も・・・

友達や異年齢児が話す様子を嬉しそうに見たり、一生懸命聞いたりする姿が増え、みんなで一緒に進めていく誕生会の楽しさを味わうことができるようになりました。(Good!)

司会は私たち
にまかせて!



年少児もみんなの前でお話
できました。



年長児の手作り
キーでお祝い。み
んなでふれ合い遊
び。“誕生会”って
楽しいね!



人前での話し方が分かるようになってきています

人前での話し方がしぜんに身に付き、「○○しましょう」「次は△△です」「好きな果物は××です」など、自分なりに言い方を考えたり分かるように話そうとしたりする子どもが多く見られるようになりました。また、友達や年長児がモデルや刺激となり、人前で話すことにやや苦手意識のあった子どもも、司会になった時や誕生会で祝ってもらう時には、皆の前でも喜んで話そうとする姿も増えてきました。

相手に分からないことを尋ねたり、聞かれたことに答えたりするようになってきています

年長児は・・・

年少組での経験の積み重ねを通して、自分が年長になると、年少児が分かるように言葉を考えて話したり接したりする姿や優しさにつながりました。

年少児は・・・

年少児と年長児のペアでのふれあい活動を継続的に楽しんできたことで、年長児にしてほしいことや分からないことを自分から話す年少児が増えてきています。

そして・・・

必要な言葉を覚えたり使ったりするなど、「言葉の力」が少しずつ身に付いてきています。

この「えがお いっぱい」(園長通信)は庄内学区町内ホームページにも掲載していただいています。
<http://townweb.e-okayamacity.jp/shounai-r/>